

認知症対応型通所介護事業所 Second Place ハレノヒ
第6回 運営推進会議（令和5年11月）

司会進行 ハレノヒ生活相談員
友田 美奈

議事

- 1 構成員紹介
- 2 利用状況報告
- 3 活動報告
- 4 ヒヤリハット
- 5 アクシデント
- 6 研修報告
- 7 ハレノヒにおける新型コロナウイルス感染者発生状況について
- 8 その他
- 9 次回開催予定日
- 10 構成員より感想、助言
- 11 会議終了

Ⅰ 運営推進会議構成員紹介

上岩野自治会長	様
民生委員	様
地域包括支援センター管理者	様
店舗オーナー	様
利用者家族代表	様
(株)EASE 代表取締役	井上 茜
Second Place ハレノヒ生活相談員	友田 美奈
指定居宅介護支援事業所ハレノヒ管理者 Second Place ハレノヒ管理者	久川 洋介

2 利用状況

性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	0	1	0	3	3	1	1
女性	0	0	7	2	5	0	3
計	0	1	7	5	8	1	4

曜日別利用状況

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
男性	4	2	5	3	3	2	1
女性	8	11	7	10	9	9	4
計	12	13	12	13	12	11	5

- 利用者の傾向として男性 9名女性 17名と現在は女性の利用者が多い。年齢は71～100歳までの方が利用されている。
- 介護度は要介護1の方が中心だったが利用期間が長くなり要介護3の方が増えており平均介護度も上がっている
- 12月より利用開始予定2名、定期利用追加希望者1名、利用待機者0名。

3 活動報告

別紙 ハレノヒ広報誌「AOIRO」あおいろ 写真ページ参照

- 第11号 令和5年7月発行

集団/個別脳活性トレーニング、農園作業（カボチャ・ニガウリ・スイカ・トマト等収穫）、誕生会、訪問美容室、山田の藤見学、田原坂（つつじ見学）、七夕、外食、合志（あじさい見学）、フードパル（バラ見学）、鹿央古墳館（蓮の花見学）、季節の創作、植木図書館、ドライブ、調理トレーニング、ゲーム、散歩（歩行訓練）、掃除・洗濯等生活動作リハビリ、体操 等

- 第12号 令和5年11月発行

集団/個別脳活性トレーニング、ヨーヨー釣り、花火、北区子供祭り見学、菊池菊まつり見学、訪問美容室、農園作業（からいも収穫、野菜の種まき等）、焼芋、コスモス見学（菊池河川敷・旭志道の駅）、季節の創作、カゴ作り、調理トレーニング、ゲーム、散歩（歩行訓練）、洗濯等生活動作リハビリ、体操 等

4 ヒヤリハット R4.5.12～R5.11.12 (抜粋して記入)

ヒヤリハット	対応
悪気なく、他者の荷物（バックや眼鏡）を引き寄せられる、触られる事がある為、トラブルになる可能性がある	おちつけない様子があった 職員が隣に座り対応 不快な思いをされないよう物の置き場等職員間で再確認した
歩行付添いが必要な方が一人で移動される 動きが早く 職員が間に合わない	自席に戻られた際に、用心の為職員に声をかけて欲しい事伝える 座られるまでの見守りを引き続き継続する
連絡帳に個別で記入すべきことが抜けていた	前もってWT・メニュー等、連絡帳に記入しておく
利用者様がソファーで足を伸ばして座っておられるのに 気付かず職員が躊躇そうになる	足元、周囲を見て落ち着いて行動するよう心掛ける
送迎時、後部座席に座られていた方がシートベルトを外される	音で気付き、止められる場所に停車し説明して再度装着して頂く
他者をご主人と勘違いされ、近づこうと立ち上がりあり（車いすの方）	職員が話を傾聴し助言する事で徐々に落ち着かれる 転倒リスク高いので、レク補助担当が全体を見て、視線を外すときは他職員に声掛けする様周知する
利用者様にベッド臥床して頂いた後の見守り不足がある	臥床介助をした職員が見守りを続ける 出来ない場合は他の職員に申し送り、見守りが途切れないよう周知する
レクレーションのボーリングに調子よく参加され勢いよくボールを投げられるため他者が驚かれる	職員が説明して納得され、その後は落ち着いて参加される
雨天時の歩行介助の際、傘を閉じようとして一瞬利用者様の手を離してしまいふらつかれる。	側にいた為すぐに支える事は出来たが、雨天時は床も滑りやすくなるので細心の注意を払うことが必要
お迎え時・帰宅時の乗車の際、順番が待てず車椅子の方が自走され入り口付近で危険な事があった	職員がブレーキを外す音で気付き、すぐに駆け付けているが入り口付近は傾斜があり危険 毎回、乗車前は付き添いを行いなるべく1番に乗車して頂くよう職員間で周知する
ミキサー食の方が他者のおやつを引き寄せて手に取られていた	すぐに気付き声掛けを行い食べられる事はなかったが以前も同じような状況はあったので配席やおやつを出すタイミングなど再度周知行う
自席の名札を持ち帰られる方がいる	帰りの挨拶の際、確認の為に「今日来て下さった方のお名前をお呼びしますのでお返事お願ひします」と点呼しながら名札を集めるようにしている
ご自宅に送迎時お弁当を温める際レンジを開けると、いつの物か分からぬおかずが入っており臭いがした	説明後、一緒に処分レンジの清掃を行い温める
レクレーション用のおもちゃの金魚を口に入れようとされる	すぐに声掛けを行い対応 他のレクレーションに変更する

帰りの送迎の際、自宅の中までお送りするが職員が帰宅しようとすると玄関より出て来られる	ご本人に説明し自宅の中まで再度送らせて頂く一人になる不安がある様子 ご家族にも電話にて報告する
到着時利用者様に降車して頂く際、ギアがドライブに入ったままになっていた フットブレーキはしっかりと踏んであったので大事にはならなかった	車の乗り降りの際はエンジンを切るように周知する
降車時自身で車のドアを開けられ転倒危険性があった	近くにいた為すぐに声掛け対応できた
ソファーで休まれている時に玄関のチャイムで驚かれ、勢いよく起きられ前方に転倒しそうになられる	職員が側にいたので掛けより転倒なし
義歯を装着していらっしゃらなかった 自宅に確認し自室にあったとの事	マスクをされている為見落としがちになっていた 送迎時は確認をする

・上記以外に 231 のヒヤリハット記録あり

5 アクシデント

アクシデント	改善策
ソファーに座って過ごして頂いていたが音がし振り向くと床に座り込まれていた	帰宅前で職員がトイレ誘導や帰宅準備などで動きが出ている状況での事だった。全体を見守る担当の職員・直前まで付き添っていた職員は場を離れる際は他職員へ声掛け見守りの意識を高める
テーブルに設置してあるパーティションが風で倒れ両手でパーティションを持っておられた 当たった部位ははっきりせず痛み・赤みなどなし	部位ははっきりしないが額を押さえられたためクーリングする 窓は全開にせずエアコンなどを活用するようにする
左ひじに 1 cm 程の皮膚剥離ある お迎え時の移乗介助の際に負傷されたと思われる	皮膚乾燥が強く少しの摩擦でも傷がつきやすい状態であったワセリンで全身の保湿を行い移乗時は二人介助を行い細心の注意を払いながら対応する
パイプ椅子を使用し接続部分で指を挟まれる 傷が出来ておられ消毒後絆創膏貼用する	利用者様にパイプ椅子を使わない事を周知する
入浴時不安感が強く、石鹼の泡が着いたまま脱衣所へ移動され足を滑らせ転倒される 後ろに職員が付いていた為頭部の打撲はなかったが腰・臀部辺りを打撲される	利用者様の咄嗟の動きが予想できなかった 入浴されるタイミングあるので声掛けを上手く行い少しでも落ち着いた気持ちで入浴して頂けるように日々の様子観察・コミュニケーションをとり関係性を作る 病院受診され異常はなかった
送迎終了後、駐車場へバックで駐車の際車輪止めをすり抜け下がり過ぎた事に気付いて慌ててアクセルを踏み込んでしまい後方のフェンスに衝突する	バックモニターを見ていたが感覚がつかめずサイドミラーでバックしたが車輪止めが見えていなかった 慎重にゆっくりバックする
ベッドから車椅子移乗介助時、右下肢に 3 ~ 5 mm 程の皮膚剥離をされる	皮膚剥離しやすい方だとは心得ていたが車椅子本体の出っ張りに引っ掛けてしまった ご利用時には長ズボンの着用をお願いする

入浴時の車椅子から浴室室内椅子に移乗時、椅子を引き寄せる為に目を離してしまい椅子より転倒左上肢2か所表皮剥離、頭部も打たれたと思われる為、看護師より応急処置後、ご家族報告して病院受診 CT撮影され異常見られず経過観察の指示あり	目を離した際、手も利用者様より離してしまった フットレストも外しており座っておられた位置も後方になっていた為前傾姿勢になっており転倒しやすくなられていた。転倒リスクが高く職員2人介助をしている もう一人の職員との声掛けを意識して利用者様より目・手が常に離れないようする。
宿泊利用時、服薬忘れある 初めての宿泊で内服の確認不足だった	宿泊前はいつもとは違う内服もある為、事前にご家族に確認し薬情書などで情報を確認して宿泊に臨む 看護師と一緒に内服の確認を行う
入浴後、脱衣所からフロアへの段差で膝折れあり足を踏み外し尻もちつかれる	声掛け不足だった 移動介助時は視線や足元の安全確認を常に頭に入れておく必要がある
いつもと違う様子あり、おやつの梨を喉に詰まらせておられた 職員がすぐにタッピング、看護師が義歯を外し再度タッピングを行い改善される その後のバイタル異常なし	歯茎の腫れや義歯の不具合が見られていた 状況が改善されるまで極小刻み食の提供をする
トイレで方向転換される際ふらつかれる 支えきらず一緒に倒れ込むが職員が体を支えていたので打撲はなかった	下肢筋力の低下・血圧の変動が大きい 必要時は職員2人介助・車椅子を使用する 下肢筋力アップの為にペダリング・踏み台昇降訓練行開始

6 研修報告

施設内研修 6月 感染・食中毒蔓延防止

7月 交通安全

8月 非常災害時の対応

9月 職業倫理

10月 接遇

11月 避難訓練

外部研修 4月～ 介護職員実務者研修 山下

6/20 ペップトーク研修会 友田

6/24 レビー小体型認知症ケア研究会 井上

7/29 桜十時NST研究会 井上

8/31 介護保険の理念 井上

9月～10月 介護現場のコミュニケーション 全職員

9/11 経済的虐待対応について 井上

9/15～9/22 オンライン海外研修 井上

10/11～11/9 ケアマネステップアップ研修 井上

7 ハレノヒにおける新型コロナウイルス感染者発生状況について

	陽性確定日	区分	最終出勤・利用日	濃厚接触者	感染経路	療養方法	療養後の状況
①	R4.5.25	職員	5/21	無	家族	自宅療養	6/7～勤務再開
②	R4.7.21	利用者	7/17	無	家族	入院	利用再開できず中止
③	R4.8.3	利用者	7/29	無	家族	入院	8/26～利用再開
④	R4.11.13	職員	11/12	無	家族	ホテル療養	11/21～勤務再開
⑤	R4.12.9	利用者	12/8	有	家族	自宅療養	12/16～利用再開
⑥	R4.12.9	利用者	12/8	有	家族	自宅療養	12/20～利用再開
⑦	R4.12.20	職員	12/17	無	家族	自宅療養	12/28～勤務再開
⑧	R4.12.27	職員	12/20	無	家族	自宅療養	1/3～勤務再開
⑨	R4.12.30	利用者	12/29	有	家族	自宅療養	1/9～利用再開
⑩	R5.1.3	利用者	12/22	無	家族	自宅療養	1/12～利用再開

↑前回までの運営推進会議にて報告済

	陽性確定日	区分	最終出勤・利用日	濃厚接触者	感染経路	療養方法	療養後の状況
⑪	R5.8.1	職員	7/25	—	不明	自宅療養	8/7～勤務再開
⑫	R5.8.2	職員	7/28	—	不明	自宅療養	8/8～勤務再開
⑬	R5.8.26	利用者	8/26	—	家族	自宅療養	9/5～利用再開
⑭	R5.8.27	利用者	8/27	—	居住施設	入院	9/7～利用再開
⑮	R5.8.27	利用者	8/27	—	居住施設	居住施設療養	9/7～利用再開
⑯	R5.8.27	利用者	8/26	—	居住施設	居住施設療養	9/8～利用再開
⑰	R5.8.29	利用者	8/26	—	居住施設	居住施設療養	9/9～利用再開
⑱	R5.10.1	職員	9/26	—	家族	自宅療養	10/11～勤務再開

8 その他

- ・10/12 植木町介護支援専門員連絡協議会研修会
認知症の歴史と認知症対応型通所介護について 講師 井上
- ・10/29 第1回植木コミュニティー食堂まるある開催 参加者 116名
共同主催－通所介護事業所だんだん、デイサービス NaturalWalk
- ・11/25 熊本県・熊本市 認知症介護実践者フォローアップ研修 友田受講予定
- ・12/3 上級認知症ケア指導管理士 認知症ケア指導管理士（初級） 井上受験予定
認知症ケア指導管理士（初級）健康予防管理専門士 友田受験予定
- ・職員対象 NISA 開設支援開始

9 次回会議資料配付予定

日付：令和6年6月17～22日

※夕食の提供、利用時間延長の方の利用者対応を行っているため今後も書面上での会議開催にてご了承いただけますと幸いです。ご質問等ある際はいつでもご連絡下さい。
引き続き、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

10 構成員より評価・感想・助言等

構成員氏名 ()

- ・ヒヤリハットによる対応がきちんとされていると思いました。アクシデントの改善策も利用者様の事を考え細かな対応が考えられていると思います。コミュニティ食堂の活動も始められ、地域とのつながりも深まり活動の幅を広められている様子が伺えます。
- ・日頃からご利用者、ご家族に対して親身な対応に感心させられます。また、個別対応の幅の広さもケアマネの立場として大変助かる事が多く感謝しています。認知症の症状は様々ですが介護の手法も増えているので、より安心して頼れる事業として研修などで知識・技術を習得して頂ければと思います。今後も日々の情報共有を大切にしながら、ご利用者・ご家族の満足度向上に向けて協働して頂けると助かります。
- ・認知症の方々、全て目に配る事は大変な事と思います。注意していてもどのような行動をとるか分からずと思うので職員の方々のストレス、緊張は大きいかと思います。母が台所で一緒に立っていると何をしてかすか分からずでイライラしてしまいます。鍋を作っていた時は、勝手に横から切り身の魚を入れたりして怒ってしまいます。怒らないようにと思うものの、つい怒ってしまいます。レクレーションでも色々なハプニングがあるので皆さんも大変だなと思いました。
- ・ヒヤリハット、職員の方もずっと気が張っている訳にはいきませんが大変だと思いますが頑張ってください。AOIRO 11月号での脳のトレーニングにチャレンジしましたが県名は30%くらいしかできませんでした。

質問

- ・利用者様で女性の方が男性より多いのは女性が長生きされるからでしょうか？

熊本県平均寿命 男性 81.9歳 女性 88.2歳 (R2年)

女性の平均寿命が長い事もあり割合が男性より多くなっているようです。又、平均寿命が上がると認知症の確立も高くなるので、その為にハレノヒご利用者も女性の方が多いと思われます。

- ・利用者様の介護度が要介護1⇒要介護3になったと記載されていました。一人二人ではなく平均介護度と思います。当初と比べ業務量も増えていると思いますがどのような点が苦労されていますか？また、どのように工夫されていますか？

開設当初は要介護1の方が比較的多かったのですが、利用を継続されている方は徐々に介護度が上がって来られています。開設当初の平均介護度は2.1 令和5年11月時点では2.6となっております。業務量につきましては利用者数の増加に伴い職員数も増進して頂いてます。利用者数の増加により様々な症状を持たれてるケースが増え忙しさもあります。しかし職員間で協力、家庭環境に配慮しながら仕事を続けられる環境作りや必要時は会社への提案を行っています。新人職員さんも日々成長されています。

日頃より、ご利用者はもちろん、送迎時などにご家族にお会いした際は雑談も交えながら困りごとなど傾聴させて頂き、現場に持ち帰り職員間で出来ることがないか等、話し合う事があります。利用者のみならずご家族にも目を向け、家庭毎に困りごとが大きくなる前に気付く事を心掛け、その情報を担当ケアマネへ早期に報告し小さな困りごとのうちに解決できるように努めています。

- ・認知症の方を対応する場合、継続した支援が必要だと思います。職員さんの定着率を教えて下さい。

定着率は80%です。(調理員専従も含め) 退職の理由としては、実際に勤務して認知症ケアの難しさを感じ数日で退職、家庭の事情、定年退職となっております。

- ・今後の書面開催について

熊本市の介護事業指導課に質問させて頂き、新型コロナウイルスが5類になった事により対面での開催が望ましいとの事です。次回よりは招集しての開催を予定させて頂いてます。